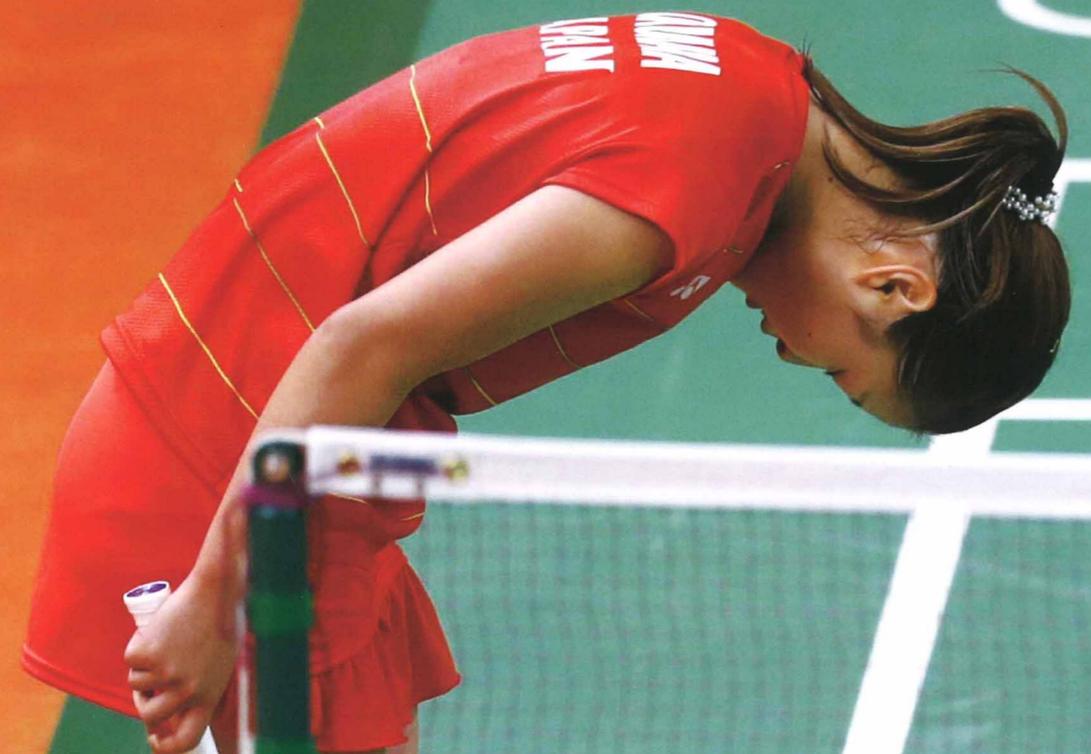


# バドミントン 奥原希望選手が 礼をするのは なんのためか



礼に始まり、礼に終わる。これは、剣道や柔道などの武道で特に大切にされる日本の精神だ。2016年リオデジャネイロオリンピックのバドミントン競技、女子シングルの準々決勝は、奥原希望選手 vs 山口茜選手の日本人対決となった。同じ国の選手どうしの対戦を世界が目にしたが、試合が終わったとき、勝敗の結果だけでなく、日本人選手の礼儀正しい姿勢に世界が心を打たれた。

はじまり

おくはらのぞみ せんしゅ やまぐちあかねせんしゅ  
奥原希望選手と山口茜選手は  
よきライバルでありよき友だった

いよいよ  
オリンピックが  
始まるね!

じゅんじゅんけっしょう  
準々決勝は  
あかね  
茜ちゃんのだ……

たが  
お互いにベストを  
つくって  
頑張って  
頑張りようね!

むかえた準々決勝  
ふたり  
二人は  
一進一退の戦いを  
繰り返す

ワァァァァ

スッ

せっせん せい おくはらせんしゅ しやうり き しゅんかん  
接戦を制して奥原選手が勝利を決めた瞬間……

おくはらせんしゅ しやうり よろこ  
奥原選手は、勝利の喜びよりも  
ライバルへの礼儀を大切に  
したのだ

おわり

# バドミントン奥原希望選手が

## 礼をするのはなんのためか

奥原選手の「礼」が話題になったね。

そうそう、勝利を決めた瞬間の「礼」が、  
なんかかっこよかったのよねえ。

勝ったんだから、素直に喜ばないじゃないか。

たしかに、喜びを体中で表現するのも大事なパフォーマンス  
じゃろうな。けれど、奥原選手はそれよりも大事にしたことが  
あったと言えるのではないかのう。

そうなの。私が「なんかかっこよかった」と言ったのも、そういうこと!

どういうことだ? 一言で言ってみてくれ。

う〜ん、うまく言えない。

「礼」は礼儀だよな。奥原選手は礼儀正しかったということかな。

うん、そうね。でも、それだけではないような……。

よくわからんな。はっきりしてくれよ。

サッカーの試合で負けたとき、喜んで相手を見るのは切ないものだよ。

そうだよな! 負けた選手はくやしいだろうし、  
相手の気持ちを考えたんだと思う。

二人は同じ日本人選手で、ライバルであり、仲間なんだよね。

「親しき仲にも礼儀あり」ってことかな?

う〜ん、それもちょっと違う気がするなあ。

ははは、ずいぶん悩んでおるな?

日本には昔から「礼に始まり、礼に終わる」文化がある。

武道、茶道、華道など、「○○道」と呼ばれるものは、すべてそうじゃな。

ああ、日本人ならではの文化だね。

ということは、日本選手なら誰でもやっている形式的なことなんだな。だったら、  
なんで奥原選手の「礼」だけが取り上げられて話題になったんだ?

きっと、その「礼」に「心」が感じられたからじゃないかな。

同じ日本の仲間だけれど、互いに全力で戦い、勝者がいれば敗者がいる。

いったん試合が終われば、力の限り戦った相手への敬意を大切にしたんだね!

そういう相手への敬意とか、勝っても浮かれなないようにしよう  
とした、謙虚な心が見えたから、かっこいいなあと思ったのね。

そういう「礼」ができる人って素敵だね。

そうだね、だからこそ、世界もその姿に感動し、賞賛したんだ。

勝利直後、本当は叫びたいくらいにうれしかったはずなのに、  
それを抑えて、対戦相手に「礼」をしたんだね。

ほほう、なんか俺もちょっと奥原選手がかっこよく思えてきたぞ。

そうだよ！リスくん、そういう感動は伝わるんだよ。



「凜とした」という言い方があるけれど、会場全体にぴーんとした空気が伝わったんだろうね。会場全体が息をのむような瞬間は、ナイスプレーの瞬間だけじゃないんだ。



うむ。そのような息をのむような、空気を支配する「気」に満ちていたのじゃろう。



ほーら、やっぱり私がかっこいいと思ったのにはわけがあったんだ！



何言ってるんだい、自分だってなんでかっこいいのかよくわからなかったくせに。



でも、みんなと議論したおかげで、礼の大切さまでわかっちゃった。



ぼくも！礼を大切にするスポーツ選手ってかっこいいね。



一流のスポーツ選手って、技術が一流だけではなく、人としても一流なんだね。



「かっこよさ」にはいろいろな意味があるが、こういう「形と心が一致している、凜としたかっこよさ」は人々の心を打つものじゃな。たとえ文化が異なる他国の人々でも共有できるということじゃ。そういう「礼」ができる人になりたいものだよ。



「礼」というのは、礼儀作法などと言われるように、形として外に現れるものじゃな。立ち居振る舞いがきちんとしている人は、それだけで相手に好印象をもたれるじゃろう。けれど、そこになくはないものがある。それが心とか気持ちとかと言われるものじゃ。これがなくても「礼」は成り立つが、心が見える礼は人の心を打つ。それを身をもって示してくれたのが、奥原選手だ。相手に対する敬意、自分一人の力で勝ったのではないという謙虚な気持ち、会場をシーンとさせたのは、奥原選手の「形」ではなく「精神」なんじゃろう。



リスくんの絵日記



えただぞ。

しろうがちよつと大人に見

進んでやっっているんだって。

しろう流の方法だと思っ

れ儀や挨拶は、人と友達にな

でもみんなと話してからは、

ら礼をしてたんだって。

人にしろうって言われたか

理由は分からないけど、家の

しろうはいつも礼儀正しい。